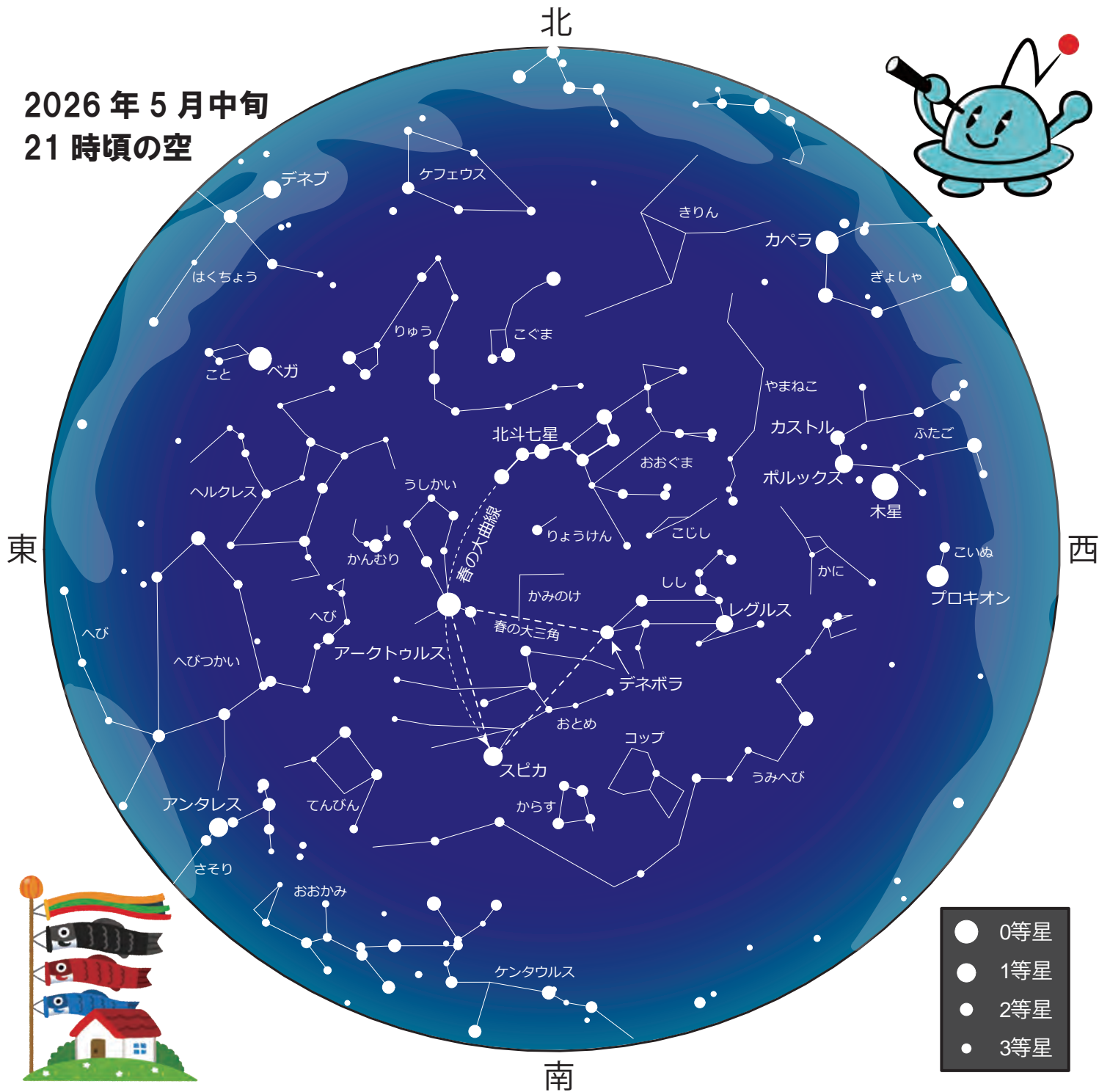


阿南市科学センター

5月の星空案内

2026年5月中旬
21時頃の空



5月の夜空は春の星座たちがたくさん輝いています。まず目に入るのは北の空に輝く**北斗七星**でしょう。北斗七星は星座ではなく、**おおぐま座**という大きな星座の一部となっています。北斗七星のひしゃくの取っ手の星から南に曲線を引いていくと見つかるのは春の一等星、**うしかい座**の**アークトゥルス**（約-0.1等）です。アークトゥルスからさらに曲線を伸ばすと**おとめ座**の一等星**スピカ**（約1.0等）を見つけることができます。こうして引いた曲線を**春の大曲線**と言います。さて、星座には大きいものや小さいものがありますが、星座の大きさランキングと題しますと、おおぐま座が第3位、おとめ座が第2位になります。では栄えある第1位は**うみへび座**です。暗い星が多くて探しづらいかもしれませんが、ぜひこの大きな星座たちを探してみてくださいね。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて 【毎週土曜日開催 / 20時～, 21時～】

阿南市科学センター

電話 0884-42-1600

<https://www.ananscience.jp/science/>

5月の月の満ち欠けと惑星について



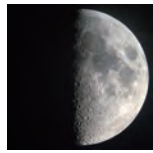
満月
2日、31日



下弦
10日



新月
17日



上弦
23日

5月の天体観望会で月が見える日時は？



5/2 (土) ... 21時の回



5/23 (土) ... 20時、21時の回



5/30 (土) ... 20時、21時の回

- 水星：月末、夕方西の低空で見える。【約-0.6等】
- 金星：夕方、西の空で見える（宵の明星）。【約-4.0等】
- 火星：明け方、西のごく低空で見える。【約1.2等】
- 木星：日没後、西の空で見えるが前半夜に沈む。【約-1.9等】
- 土星：夜明け前、東の低い空で見える。【約0.9等】

※ 各惑星の等級は中旬頃の明るさ（水星のみ31日の明るさ）。

31日は今年一番小さな満月だよ！スーパームーンの時の大きさと比べてみよう！



最大と最小の月（撮影：2020年）

天文現象

【パンスターズ彗星、夕方の空へ】

4月18日に近日点を迎えたパンスターズ彗星（C/2025 R3）は明け方の空から夕方の空へ見える時間帯が変わります。残念ながら肉眼で見ることは厳しいですが、双眼鏡を使うと見ることができるとも思われます。しかし、観測の難易度はかなり高めで、かなり彗星の高度が低くなっています。見つけ方は、西の空に見える金星を見つけ、その後すぐにほんの少しだけ視線を南側に移すと沈みかけのオリオン座を見つけれられます。パンスターズ彗星はこのあたりにいますが、空が暗くなった時にはもう彗星の高度は5度を下回っていると予想されますので、明るいうちにある程度の場所を検討しておく必要があります。また、日に日に場所は変わりますので、Starwalk2などのスマホアプリなどを活用して探すといいかもしれませんね。



C/2025 R3 (PanSTARRS)
(100SDUF II + Canon EOS RP
露出 30 秒, 30 コマ撮影, ISO800, 4月6日撮影)

イチオシ天体写真

【おとめ座のソンプレロ銀河 (M104)】



ソンプレロ銀河 (M104)
113cm (F9.7) + ASI6200MC Pro

今回ご紹介するのは「ソンプレロ銀河 (M104)」という天体。この銀河は18世紀にフランスの天文学者ピエール・メシャンが発見した天体で、私たちから約3700万光年離れています。ソンプレロという名前は、メキシコの伝統的な帽子に似た見た目に由来します。帽子のつばのように見える黒っぽい帯は、銀河の円盤にある大量のちりが内側の星の光をさげることで見えているものです。銀河は見た目から、渦巻銀河、楕円銀河、レンズ状銀河などに分けられます。ソンプレロ銀河は長い間うずまき銀河と考えられてきましたが、渦を巻く構造がはっきり見えなかったことなどから、現在はだ円銀河やレンズ状銀河ではないかとも考えられています。しかし、このようなはっきりしたちりの帯は珍しく、不思議な銀河として今も研究が続いています。